

2019年7月8日
株式会社東陽テクニカ

**東陽テクニカが国内独占販売する
高速ソフトウェア構成管理ツール「Perforce Helix Core」が、
「CEDEC AWARDS 2019」で優秀賞を受賞、最優秀賞にノミネート**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、当社が国内独占販売する米・Perforce Software 社の高速ソフトウェア構成管理ツール「Perforce Helix Core」の開発チームが、一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会が主催する「CEDEC AWARDS 2019」のエンジニアリング部門で『優秀賞』を受賞し、さらに最優秀賞にノミネートされたことを報告いたします。



CEDEC AWARDS は、コンピュータエンターテインメント開発の進歩へ顕著な功績のあった技術にフォーカスし、技術面から開発者の功績を称える賞です（CEDEC 運営委員会 プレスリリース；
https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/cedec2019web/press/cedec2019_release_0614_1739.pdf）。

今回、高速ソフトウェア構成管理ツール「Perforce Helix Core」の『大規模バイナリデータを高速で扱えることを強みとして、容量が大きくなりやすいゲームのアセットのバージョン管理を大幅に効率化している点』が高く評価され、「Perforce」開発チームが、エンジニアリング部門で優秀賞を受賞しました。

【 高速ソフトウェア構成管理ツール「Perforce Helix Core」 】

企業の重要なデジタルアセットを管理するソフトウェア構成管理ツールをコアにした統合プラットフォームです。ソースコードなどのテキストデータからグラフィックなどの大容量バイナリまで、複数のデータやファイルを含むテラバイト級のアセット群を高速にかつ安定してバージョン管理できる環境を実現します。

<特長>

- ✓ 独自のストリーミングプロトコルによる高速なアクセス
- ✓ 大規模開発に適した拡張性、信頼性の高いデータベース
ーテラバイトデータ、10,000 ユーザーをサポート
- ✓ ストリーム機能により、複雑なプロジェクトも容易に管理



高速ソフトウェア構成管理ツール
「Perforce Helix Core」

- ✓ プロジェクトを可視化するオリジナル GUI
- ✓ セキュアな環境を構築できる柔軟なアクセス制御
- ✓ インテグレーションを容易にする豊富でオープンな API と SDK
 - Jenkins、Redmine、JIRA 連携
- ✓ Windows をはじめ、Linux、macOS など各種プラットフォームに対応

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁両立性）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション

TEL：03-3245-1248（直通）

E-mail：ss_sales@toyo.co.jp

「Perforce Helix Core」紹介サイト：<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/perforce>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。